**令和５年度　福岡県農業大学校外部評価会議　会議録（要旨）**

令和５年度福岡県農業大学校外部評価会議　会議録（要旨）についてお知らせします。

１　日時・場所

　　令和６年３月１２日（火）13時30分～15時00分　　　福岡県農業大学校　大教室

２　出席者

○外部評価委員（４名）

　　　農業大学校元同窓会　会長　進藤重徳氏

福岡県青年農業士会　会長　廣渡昌平氏

県立福岡農業高等学校　校長　月俣誠司氏

福岡県農業協同組合中央会担い手・営農ｻﾎﾟｰﾄｾﾝﾀｰ　センター長　重松信和氏

欠席：福岡県経営技術支援課　後継人材育室　室長　緒方貴美子氏

（※評価会議当日は欠席につき事前に説明・評価）

○福岡県農業大学校職員（６名）

　校長、副校長、教務部長、担当職員

３　評価事項

　○令和５年度取組実績及び目標達成状況について

　重点目標：先進技術と高い経営感覚を備えた新規就農者の育成・確保

　　　　　　卒業生・修了生の新規就農者割合６５％

実　績　：卒業生・修了生の就農者割合６３％（目標達成度９７％）

４　評価の概要

○令和５年度取組実績について

（資料に基づき、大学校担当者より説明）

（評価委員より意見・質疑・応答）

・ホームページには養成科の取組みがメインに掲載されているが、研修科の情報もPR兼ねて掲載を積極的に行ったほうが良いとの印象をうけた。

・農家留学研修について積極性が足りない（指示されたことしかやらない）学生も見受けられる。目的意識をしっかり持たせるよう、事前の学習が重要である。

・「農家留学研修」と「インターンシップ」の違いは？

（応答）前者はプロの農家の技術・経営感覚を学ぶことと併せて農家生活に触れ農業に対する理解を深めること、後者はインターンシップ先を農家や農業法人以外にも企業やJA等広く設定しており、学生の就業の体験を通じて進路選択に資することを目的。なお、前者は期間が３ないし４週間、後者は３日間を２回と違えていることも、（前述の）主旨を踏まえてのこと。

・農業法人等からの求人は増えているのか？

（応答）増えている。農業現場の人手不足を反映。法人数は増えていない（と考えられる）が、規模拡大・事業拡大に伴う求人増もある。

・簿記の合格率が低い。

（応答）目標値の目安とした合格率の全国平均との大きな差は、合格（３級資格取得）に対する意欲・意識の違い。いかに学ぶ意欲を持たせるかを今後内部で検討していく。

・今後とも福岡県農業従事者の確保・育成について積極的な取組をお願いする。